



3 月度議員懇談会

IoTを活用した地域活性化の取り組みを学ぶ

3月度議員懇談会を3月1日午前11時から福井商工会議所ビル地下国際ホールにて開催した。

開会にあたり川田会頭は「新年度に向けて福井県の予算編成が進んでいる。商工会議所の会員企業

も利用できる施策もあるため、そういういった施策の具体化に向けて働きかけたい。また、福井商工会議所の新年度事業計画・予算も原案ができており、議員の皆様にもぜひ意見を出してほしい」などと挨拶した。

次に、

河合永平 永平寺町町長より、自動走行技術を活用した地域づくりをテーマに卓話が行われた。

全国的に高齢化・人口減少が進んでおり、永平寺町も例外でなく住民の高齢化や住民の減少が続いている。「現状が続けば、収入が落ち込んで住民に十分な公的サービスが提供で



河合氏に語る人口減少社会に自動走行を活用したい

きなくなる」と危機感を抱いた河合町長は、人口減少に対応した産業の在り方を検討。IoTの地域活用として、自動走行車両の導入を決定した。

廃線となった旧京福電鉄の永平寺線の跡地を活用して自動走行車両の専用道路を作り、「永平寺参道」として新しい地域の足としての活用を図る。導入の際には沿線住民に対して地元説明会を開催。地域の課題のヒアリングと、地域ニーズの掘り起こしを行い、自動走行技術が地域社会に受容されるため尽力した。

河合町長は「将来的には、新しい永平寺町のブランドとして、観光面でも自動走行技術を活用していきたい」と今後の抱負を熱く語った。

卓話終了後、「豪雪の影響に関する調査」の結果報告をはじめ、各課より今後開催するセミナーや視察会などについて説明した。

最後に、2月28日に展開した「福井だけの2ndバレンタインデー」について、大野仁志(株)ごう・西武 西武福井店長が「総じてお客様から好評を得られ、24、25日に西武福井店のキャンペーンに出店した企業は両日で約100万円の売上があった」と説明した。

【議員異動】

(株)JTB中部福井支店

(旧) 太田 洋介(支店長)

(新) 西田 高宏(支店長)

